

冷凍技術の国際標準化に向けたタスクフォース会合（第１回）

議事要旨

令和８年９月１４日（月）
１５時００分～１５時３０分
オンライン形式



（１）開会挨拶（広瀬農林水産大臣政務官）

開会に当たり、広瀬農林水産大臣政務官から、日本産食品の輸出拡大等に向けて、冷凍技術の国際標準化は重要な取組であり、本タスクフォースにおいて関係者が連携し、戦略的な検討が進められることを期待する旨の挨拶があった。

農林水産大臣政務官の広瀬でございます。

皆様、本日は御多忙のところ、「冷凍技術の国際標準化タスクフォース」第１回会合に御参加いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より我が国の食品産業の発展、そして冷凍・鮮度保持技術の高度化に御尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昨年末から、日本成長戦略における重点戦略分野の一つである「フードテック」について、農林水産大臣を先頭に、私を含む政務三役と関係部局が一体となって議論を

進めてまいりました。

特に「食品機械」領域では、日本産食品の長距離・長時間輸送を可能とし、輸出拡大にも大きく貢献し得る「鮮度保持技術」を、我が国の強みの一つとして整理したところです。

一方、こうした優れた技術を世界に広げていくためには、技術の価値を客観的に示し、国際的に共有できる枠組みづくりが重要であり、その手段の一つとして、国際標準化の可能性について戦略的に検討していく必要があります。

そこで、今般、我が国が強みを有する冷凍技術について、「勝ち筋」の見極めに向けた更なる一歩として、本タスクフォースを立ち上げることにしました。

本タスクフォースは、市場動向や産業界のニーズなども丁寧に調査しながら、国際標準化が真に我が国産業の発展につながるのか、どのような形でつなげていくのが最も効果的なのかを整理していく場であると考えております。

本日お集まりいただいた皆様は、それぞれのお立場から冷凍技術や食品産業、標準化に関する知見を有しておられます。ぜひ忌憚のない御意見をいただき、日本の強みを最大限に活かした将来像について議論を深めていただければ幸いです。

農林水産省としても、皆様と連携を深めながら、本分野の発展に向けて取り組んでまいります。本タスクフォースが実りある議論の場となることを期待申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

（２）冷凍技術の国際標準化に向けた検討の進め方について

本タスクフォースの検討体制やスケジュール、論点等について確認した。

（以上）